

漢字部

多田 徑雪

今月も多数の出品があり皆様の熱意を感じるとともに、一日も早い現況の収束を願うばかりです。力作が多く嬉しい限りですが、写真掲載には届かない暖味な草書をかかれた方もおられ非常に残念でした。「十七帖」や「書譜」を再学習されるのも必要と思うところです。
また、ツルツルした紙より、少し墨の入る紙を使われた方が作品の表情も変わりよいのではないのでしょうか。浮沈の練習にもなります。

漢字部 条幅課題

A 水抱孤邨遠 山通一徑斜
不知深樹裏 還住幾人家

(劉球)

B・洗竹澆花興有餘

(顧況)

・水は孤邨を抱きて遠く、山は一徑を通じ斜なり
知らず深樹の裏 還た住す幾人家
・水は遠く孤村を繞りて流れ、山は斜に一路を通じてあり、林樹の裏は深くして、幾箇の人家の住するやを知らずと。
・竹を洗い花に澆ぎ、興余有り
・竹を洗い花にふりそそぐ雨には、尽きせぬ興趣がわく。
(しめきり)……………六月二十二日)

◎条幅出品券を作品の右下へ必ず貼付すること。

なお、作品の裏右下に段位、氏名を忘れず記入のこと。

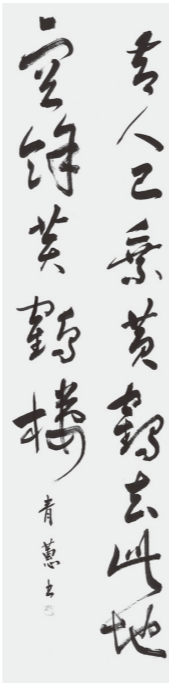
※五段以上の方はA・Bの両方向同時に出品できます。

※二点出品の場合、出品券の下にA・Bを明記のこと。

(選評)
師範・準師範の部

麗薊君 力強い線質は、常に変わらず魅力がある。
正覚君 各文字の特徴を掴んでの書法に感服。
紫峰君 太・細の線がリズムに乗り軽やかさを表出。
溪雪君 温かい字形と「應」の程よい渴筆が心地よい。
彰園君 見せ場での大胆な文字使いとかがすが見事。

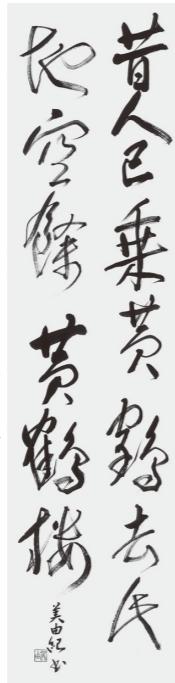
(助教以下の部)



児島 青蕙



松井 千晴



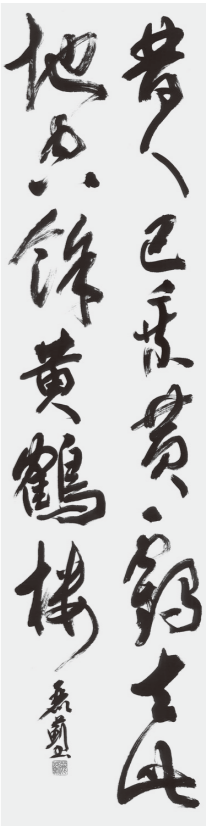
永木 美由紀



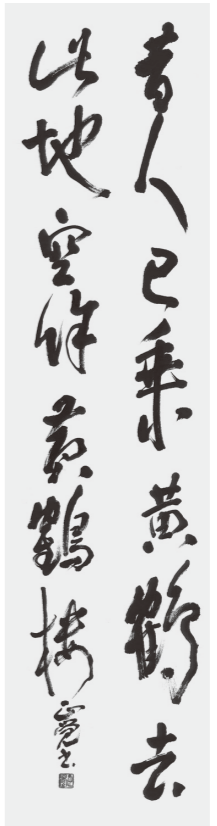
向井 富美



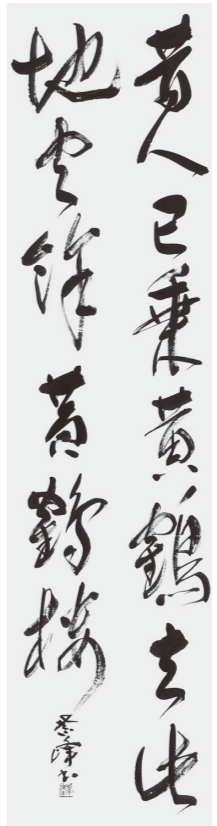
森下 照麗



後藤 麗薊



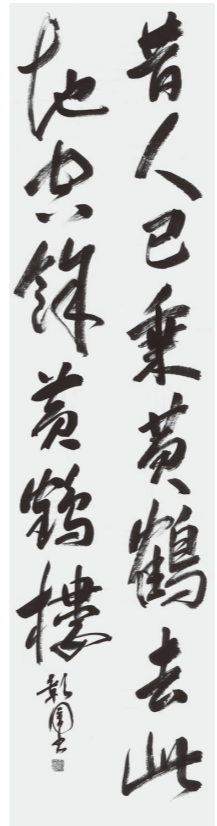
嶋原 正覚



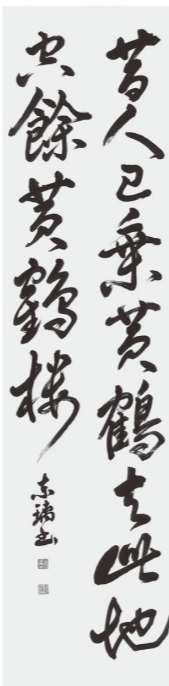
上田 紫峰



徳永 溪雪



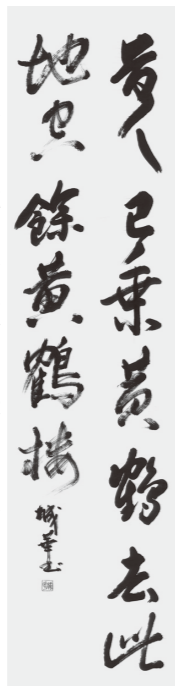
田中 彰園



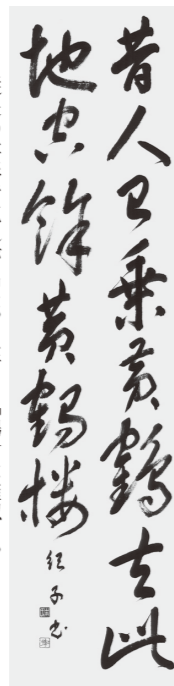
林 東瑠



小根田 暁雲



吉田 城華



山本 紀子



岐路 峰秀

のびのびとした作。収筆はきれいな筆跡が残るとよりよい。

最後の「酒」でのまとめが効いた。字形もよい。

ダイナミックに書かれた。墨量があれば更によい。

筆勢が躍動感を生みました。無駄な線は省いて。

線に強弱あり。なお優しさあり、字間の活かし方上手い。

初心を思いおこす様な素直な作。落款の位置、大きさに注意。

縦長の字形で流れが出た。二行目「鶴」は確認を。

墨継ぎ・潤渴が明確。基本として大切なことです。

作品のつくり方を心得ている。

線に工夫あり。渴筆で遠近感を出してみては。